

台湾個人旅行者動態分析・アンケート調査実施業務 仕様書

1 委託業務の目的

コロナ禍以降個人旅行者が増加しており、本県を訪れる個人旅行者の旅行動態やニーズを把握する必要がある。そのため、個人旅行者について本県への旅行動態のデータを集積して台湾人のニーズ分析を行う。また、アンケート調査を実施し、台湾人の興味関心や旅行行程の分析を行う。

2 委託契約期間

契約締結日から令和7年3月31日（月）まで

3 委託業務内容

以下の業務を実施し、実施後は実施概要及び結果をまとめた報告書を作成の上、業務終了後に発注者に対し速やかに提出すること。

（1）個人旅行者動態分析

訪日台湾人における動態データを可視化して分析し、青森県に訪れた訪日台湾人旅行者の動態を明らかにすること。また、定期便が再開されたことに伴い、来訪数が急増しているスポットや周遊傾向を把握し、分析結果を報告すること。

- ・データ項目：青森県40市町村別、観光地・ハブ地別（約40スポット）
- ・データ期間：令和元年3月～令和2年2月及び令和6年1月～12月の24か月
- ・データ概要：人流ビックデータを活用し、国際空港別に（青森空港/仙台空港/成田空港/羽田空港）上記データ項目の日帰りと宿泊の旅行者数のデータ分析、マップ等に訪日台湾人の周遊ルートの可視化

（2）アンケート調査

- ・定期的に訪日旅行をする見込みのある台湾人を対象にアンケート調査を実施すること。
- ・ターゲット層：3年に1回以上訪日旅行をし、今後1～2年以内に青森へ行きたい又は行く予定の台湾人で150名程度。150名の内訳は、
①過去に青森旅行未経験②過去に青森旅行経験（青森空港入国以外）③過去に青森旅行経験（青森空港入国有り）とすること。
- ・分析項目：
①青森直行便再開により、今後1～2年の間に青森へ訪れる頻度・活性度の把握

- ②青森県内を観光する場合の理想の周遊経路を把握
- ③上記のうち、実際に観光する場合の実施ベースの周遊経路及びその理由の把握
- ④上記のうち、脱落した経路を抽出し、脱落理由の把握
- ⑤コロナ禍前と現在の個人旅行客と団体旅行客の構成比の把握
- ⑥コロナ禍前と現在の交通手段（新幹線/高速バス/レンタカー/国内飛行機/直行便）の把握

上記を集計し、定期便の有無による青森来訪頻度の変化、理想の青森周遊経路と実際に行く可能性が高い周遊経路の把握、脱落周遊先とその機会損失の理由、脱落しなかった周遊先とその理由、個人旅行客と団体旅行客の構成比を過去・現在・将来で比較と手配手段が移った場合のその変更理由、交通手段の過去・現在・将来での比較と交通手段が移った場合のその変更理由の分析をすること。

4 成果品

- ・本業務の成果品として次のデータを CD-ROM で1部納品すること。
 - (1) 3 (1) について、分析結果を取りまとめたもの
 - (2) 3 (2) について、調査結果を取りまとめ分析したもの
- ・データは Excel 形式とし、サマリーレポートやインサイトレポートがある場合は PPT 形式で提出すること。

5 その他

- ・業務の実施にあたっては発注者と受注者が協議の上、十分な調整を図るものとする。
- ・本仕様書に定めのない事項については発注者と受注者が協議のうえ、これを定める。